

主な参加基準/除外基準

《今回の研究にご参加いただける方》

- ①当院においてうつ病の診断がされた方
- ②研究参加時に年齢が20歳以上、75歳以下の方
- ③この研究に参加することに口頭で同意していただける方

《今回の研究にご参加いただけない方》

- ①重篤な身体疾患をお持ちの方
- ②現在、状態が不安定の方
- ③その他、担当医師の判断により研究への参加が困難と判断された方

診察によっては、安全性の理由から研究への参加や継続いただけない場合がありますのでご了承ください。

詳しくは担当医師または研究担当者におたずねください。

うつ病の転帰に関する研究プログラムのご案内



うつ病の転帰に関する検討：うつ病病院コホート研究（うつ病の経過に関する追跡調査）

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

研究責任者： 中川敦夫
（慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室/
慶應義塾大学病院臨床研究推進センター）

研究担当者： 天野 瑞紀
（慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室/
医療法人社団つくば健仁会とよさと病院）

Cohort Study

医療法人社団つくば健仁会

とよさと病院

・

慶應義塾大学医学部

精神・神経科学教室

うつ病の転帰に関する検討：うつ病病院コホート研究 (うつ病の経過に関する追跡調査)の研究プログラム

うつ病は、日本人の約 7-8%が、一生のうちに一度かかるといわれている珍しくない医学的疾患です。しかし、うつ病研究における進歩にも関わらず、うつ病に関する病態はまだ十分解明されておらず、標準治療である薬物療法を行っても、十分な治療反応を示さない患者さんが少なくないことや、経過も個人差が大きいことから、うつ病には様々なタイプがあるのではないかと考えられてきており、うつ病治療に関する経過の検討が必要となってきました。

研究プログラムの内容

今回この研究では、わが国の臨床場面でうつ病治療を行っているみなさまに対し、背景情報や臨床情報を面接やアンケートで聴取させていただき、4ヶ月後、10ヶ月後、16ヶ月後にフォローアップ面接を行い、うつ病の経過や治療内容の変化を詳細に調査させていただきます。

評価面接、アンケートによる心理検査、認知機能検査を行います。その結果は、主治医にも共有し診療の参考情報として役立たせていただきます。これらの検査に関して、新たな費用はかかりません。

面接やアンケートによる評価のため、1時間半程度のお時間をいただくことになります。

費用負担について

本研究によるあらたな費用はかかりません。無料で受けられます。

プライバシーは保護されます

本研究の被験者さまの臨床情報を含む臨床評価データならびに検査データは、個人を特定できる情報は除かれ、研究データセンターにて厳重に管理されます。匿名化されたデータは、研究に必要な解析に用いられますが、患者さんのプライバシーは保護されます。

なお、本研究は、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認を受けて実施するものです。

研究スケジュール

項目	時期 (週)	ベースライン 評価	フォローアップ評価 4か月評価	フォローアップ評価 10か月評価	フォローアップ評価 16か月評価
		0週 (施行時間約120分)	4か月±8週 (施行時間約90分)	10か月±8週 (施行時間約90分)	16か月±8週 (施行時間約90分)
同意取得		●			
背景情報、臨床情報聴取		●			
評価項目					
うつ病診断、合併症(SCID-I/M.I.N.I)		●	●	●	●
パーソナリティ障害診断(SCID-II)			●		
うつ病重症度(GRID-HAMD)		●	●	●	●
うつ病重症度(BDI-II)		●*	●*	●*	●*
うつ病重症度(QIDS)		●*	●*	●*	●*
うつ病経過 (LIFE)			●	●	●
QOL (EQ-5D)		●*	●*	●*	●*
SDS (Sheehan Disability Scale)		●*	●*	●*	●*
非機能的認知(DAS)		●*	●*	●*	●*
性格と気質(T&P)		●*			
治療内容		●	●	●	●
不安 (GAD-7)		●*	●*	●*	●*
絶望感 (BHS)		●*	●*	●*	●*
回避 (CBAS)		●*	●*	●*	●*
反芻 (RRS)		●*	●*	●*	●*
治療満足度(CSQ-8J)		●*	●*	●*	●*
未来性思考課題への反応時間		●	●	●	●
前頭葉機能検査 (WFT)		●	●	●	●
前頭葉機能検査 (DSST)		●	●	●	●

●*:家に持ち帰り、後日持参される形による協力も可能とする。

